赤潮プランクトン情報（第１４報）

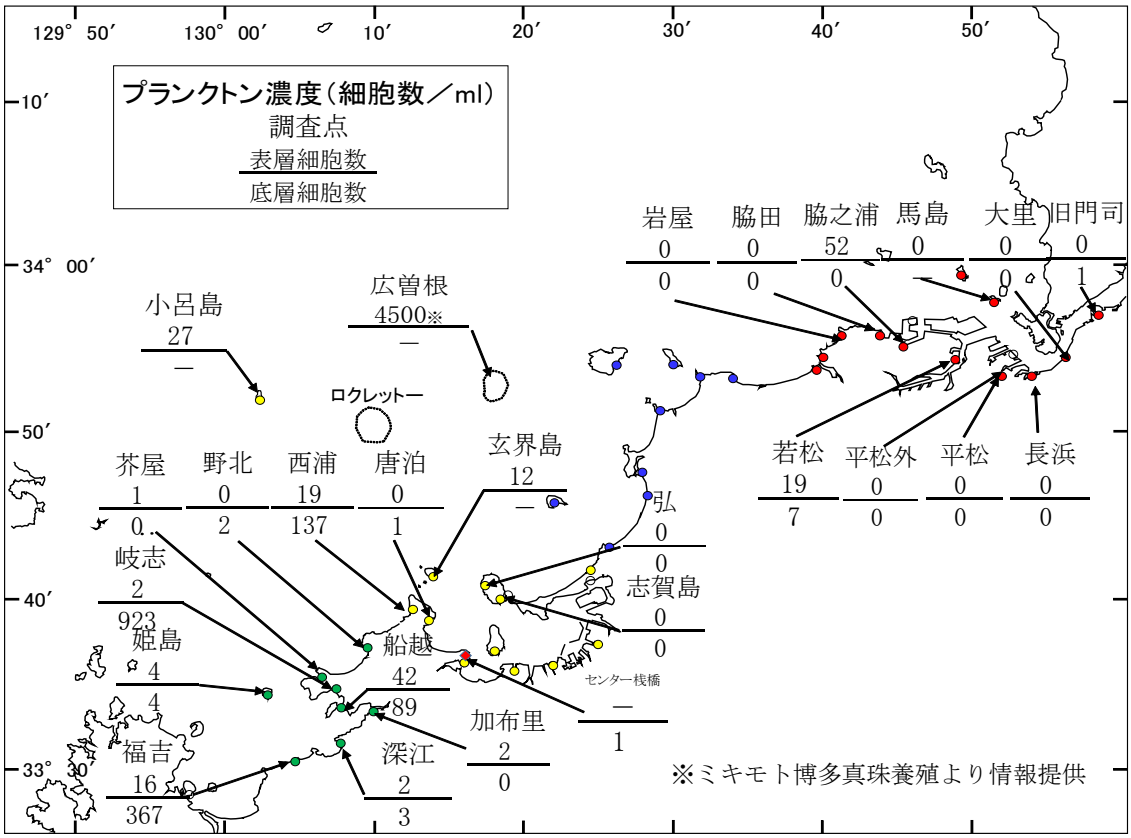
福岡県水産海洋技術センター

平成２７年７月２１日

平成27年７月21日に県内の漁港及び漁場の海水を調査したところ、魚介類に有害なプランクトン（カレニア ミキモトイ）が広範囲で発生し、畜養中のアワビやサザエ、魚類及びタコのへい死が確認されています。

カレニア ミキモトイは表層で着色が見られなくても中・底層でも高密度に増殖する可能性があります。現在、県内の全ての漁場や漁港内でカレニア　ミキモトイが急激に増殖しかねない状況にあります。**魚類や貝類は畜養せずに出荷するなど十分に注意**して下さい。

＊カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、５００細胞/ml を越えると魚介類がへい死することがあります。特にアワビ、サザエは数 10 細胞/ml でもへい死することもありますので注意が必要です。



漁場でアワビが弱ったり、海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。また別途、被害状況を集約中です。組合で取りまとめの上、お手数ですが 7/22 中に報告してください。

連絡先　福岡県水産海洋技術センター
研究部　資源環境課　秋本・恵崎・杉野・里道・片山
０９２－８０６－０８８４